



2021年3月期 第2四半期決算説明会

2020年 11月 5日

喜びを創り喜びを提供する

 寿スピリッツ

<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



目次

- **新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響** P 1～2
- **2021年3月期 第2四半期決算概要** P 3～17
- **2021年3月期 通期業績予想** P 18～22
- **今後の経営方針とセグメント別業績の概況** P 23～42
- **株式の状況・株主還元** P 43～46
- **参考情報** P 47～60



新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響

新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響

<2021年3月期 第2四半期(累計)>

- 売上面は、緊急事態宣言後の6月は回復基調に向かうものの、7月に入り検査陽性者数の再拡大により、回復ベースが鈍化。依然として自粛マインドは根強いものの9月に入って、GoToトラベルキャンペーン効果で4連休の観光地の客足が回復するなど、緩やかであるが回復の兆しが見られた。

売上高月別増減率(対前年同月比) <海外子会社除く>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
増減率	△82.4%	△79.0%	△61.5%	△56.7%	△60.8%	△48.6%

- 利益面は、役員報酬及び賞与の減額などによる人件費の抑制及び経費の削減に努めたものの、減収及び生産稼働の抑制などによる売上総利益率の悪化に伴い、四半期純損失計上を強いられる。雇用調整助成金など、助成金収入1,400百万円を営業外収益に計上。
- 現預金は期首から3,657百万円減り4,634百万円となる。新型コロナ制度融資280百万円の借入実行、増枠した当座借越枠(78億円)からの借入実行は無し。設備投資の抑制、在庫圧縮、雇用調整助成金の活用、コスト削減などによるキャッシュ・フローの改善に努める。

<足元の状況>

- 10月以降においてもGoToトラベルキャンペーンの東京都発着対象やイベント入場制限の緩和などにより、緩やかではあるが回復基調で推移している。

<2021年3月期の業績予想及び配当予想について>

- 上期業績及び足元の事業環境を踏まえ、緩やかに回復するものと想定し立案。配当予想は前期に対し10円減配の30円の予想。(今後の感染状況の推移等により当予想は大きく変動する可能性あり)



2021年3月期 第2四半期決算概要

2021年3月期 第2四半期(累計)の業績ハイライト

(4-9累計)売上高 64.7%減収、純損失1,290百万円

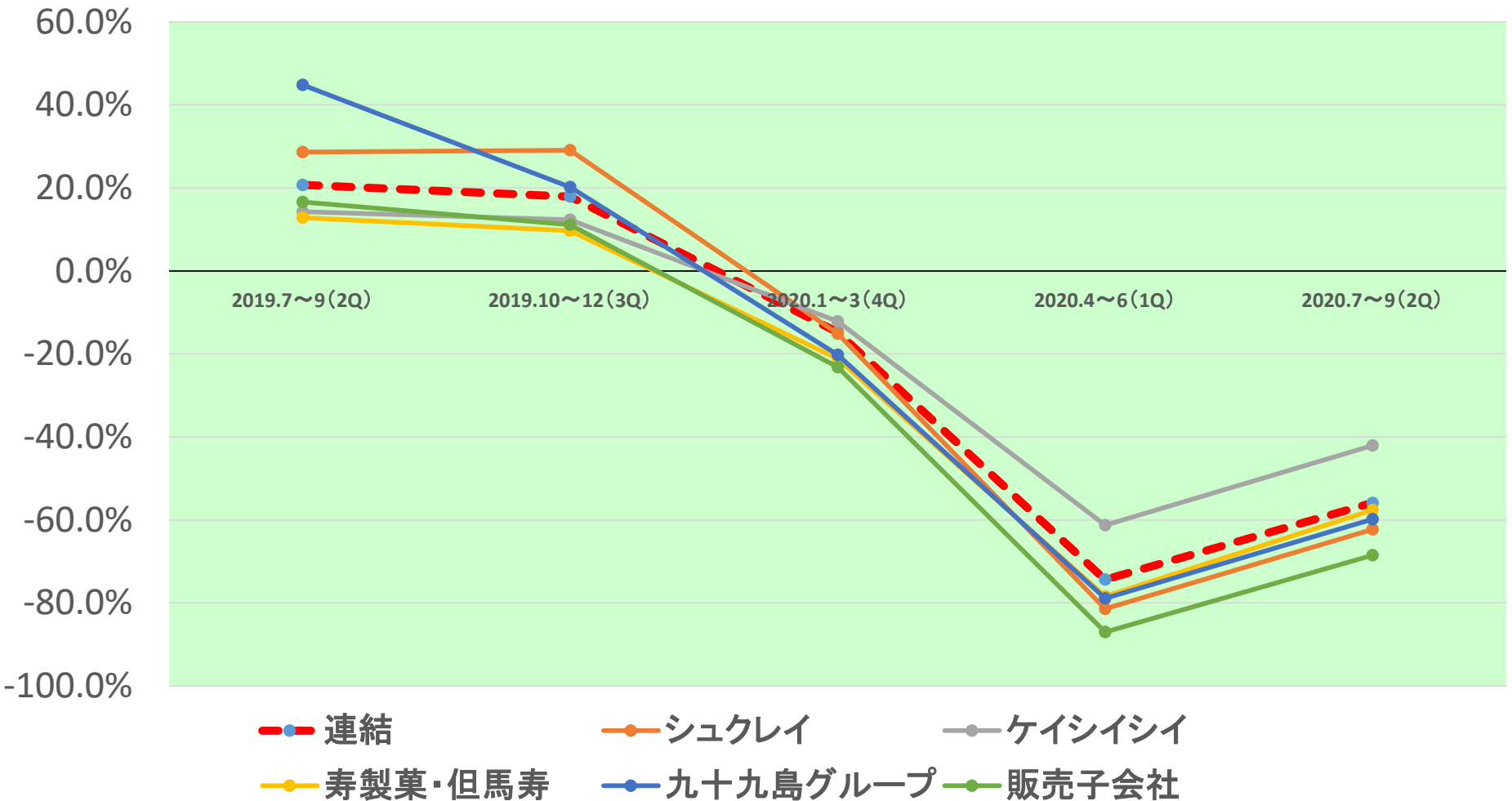
(7-9会計)売上高 55.9%減収、純損失 127百万円

4～5月は、新型コロナウイルス感染拡大による「緊急事態宣言」発令を受け、外出自粛要請や商業施設の臨時休業などにより、事業活動の大幅な縮小を余儀なくされた。緊急事態宣言解除後は徐々に回復基調にあるものの、7月に入り検査陽性者数の再拡大による移動自粛及び帰省自粛に伴うお土産需要の落ち込みにより、苦戦を強いられる厳しい結果となった。

(四半期業績)

	2020.3期			2021.3期		
	2Q会計 (7-9)	3Q会計 (10-12)	4Q会計 (1-3)	1Q会計 (4-6)	2Q会計 (7-9)	2Q累計 (4-9)
売上高 (対前年同期比)	11,761 (+20.7%)	13,287 (+17.9%)	9,506 (△14.8%)	2,716 (△74.4%)	5,189 (△55.9%)	7,905 (△64.7%)
経常利益 (対前年同期比)	1,981 (+49.8%)	2,694 (+22.9%)	233 (△86.0%)	△1,755 (-)	△201 (-)	△1,956 (-)
純利益 (対前年同期比)	1,246 (+52.3%)	1,702 (+12.4%)	130 (△88.5%)	△1,163 (-)	△127 (-)	△1,290 (-)

四半期売上高前年増減比推移





第2四半期(累計)のトピックス①

シュクレイ 東京駅で4ブランドを出店(8月)



COCORIS 東京グランスタ



ピーチショップby FRANÇAIS 東京ギフトパレット



FRANÇAIS 東京ギフトパレット



neko chef 東京ギフトパレット

第2四半期(累計)のトピックス②

ケイセイシー 東京駅で3ブランドを出店(8月)



PISTA&TOKYO 東京ギフトパレット



Now on Cheese ♪ Hello, Tokyo Station! 東京グランスタ



岡田謹製あんバター屋 東京ギフトパレット

2021年3月期 第2四半期(累計)業績(対前年同期)

大幅な減収及び生産調整に伴い、製造固定費をカバーできず
売上総利益率が悪化

(百万円、%)	前第2四半期 (19年4月～9月)		当第2四半期 (20年4月～9月)		対前年同期		(参考)前期 (19年4月～20年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	22,388	—	7,905	—	△ 14,483	△ 64.7	45,181	—
売上総利益	13,260	59.2	3,001	38.0	△ 10,259	△ 77.4	26,702	59.1
販売管理費	9,741	43.5	6,422	81.2	△ 3,320	△ 34.1	20,248	44.8
営業利益	3,519	15.7	△ 3,421	—	△ 6,940	—	6,455	14.3
経常利益	3,548	15.9	△ 1,956	—	△ 5,504	—	6,475	14.3
四半期(当期)純利益※	2,268	10.1	△ 1,290	—	△ 3,559	—	4,100	9.1
EPS(円)	72.89		△ 41.46		△ 114.35		131.76	

※ 四半期(当期)純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

セグメント別の業績(対前年同期)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響により全セグメントで減収

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第2Q累計	当第2Q累計	増減額	増減率	前第2Q累計	当第2Q累計	増減額
シュクレイ	7,830	2,259	△ 5,571	△ 71.1	1,031	△ 1,129	△ 2,160
ケイシイシイ	5,771	2,789	△ 2,982	△ 51.7	589	△ 739	△ 1,328
寿製菓・但馬寿	5,778	1,889	△ 3,890	△ 67.3	882	△ 728	△ 1,609
販売子会社	3,330	752	△ 2,578	△ 77.4	350	△ 403	△ 753
九十九島グループ	2,318	729	△ 1,588	△ 68.5	269	△ 464	△ 733
その他※	460	250	△ 210	△ 45.7	△ 60	△ 1	59
セグメント計	25,487	8,668	△ 16,819	△ 66.0	3,061	△ 3,464	△ 6,524
調整額	△ 3,100	△ 764	2,336	△ 75.4	458	43	△ 415
合計	22,388	7,905	△ 14,483	△ 64.7	3,519	△ 3,421	△ 6,940

※その他に含まれる香港事業は、本年2月に事業を閉鎖し、現地法人Honey Sucrey Limitedは現在清算手続中。

第2四半期(累計)主要セグメントの状況

シュクレイ

駅・空港市場に比べ回復基調にある郊外店舗の強化、自家需要向け商品の強化などに注力。また、キャンペーン展開による販促強化、売場改良などによるブランド訴求力の向上に努めた。出退店では、本年8月に東京駅に開業した商業施設に新ブランド「COCORIS(ココリス)」を出店するなど計4店の出店及び2店の退店を実施。

ケイシイシイ

通信販売において、期間限定商品の投入及び会員向けカタログの充実を図り、主力商品「ドゥーブルフロマージュ」、カップアイス、サンドアイスなどによる夏ギフト対策に注力。また、直営店及び催事において、冷凍ケーキなどによる自家需要対策の強化に努めた。新規出店では、本年8月に東京駅に開業した商業施設に新ブランド「PISTA&TOKYO(ピスタ アンド トーキョー)」を出店するなど計3店の出店を実施。

寿製菓・但馬寿

感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、ドラッグストア向けなど新たな販路開拓や遊月亭ブランドなどによる通信販売などを強化。

販売子会社

感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、売場シェア拡大に向けた提案営業の強化などに注力。

九十九島グループ

感染収束後に備えて新商品開発の強化に注力するとともに、フレンチトースト専門店「アイボリッシュ」において、7周年記念特別メニューの投入、テイクアウト及びデリバリーなどの対策を強化。

売上高(販売チャネル別)

外出自粛に伴う自家需要の増加などにより、「ルタオ」をメインに通販が好調

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	22,388	—	7,905	—	△ 14,483	△ 64.7	45,181	—
通信販売	1,063	4.7	1,539	19.5	476	44.8	2,912	6.4
(内ルタオ通販)	773	3.5	1,210	15.3	436	56.4	2,246	5.0
店舗販売	9,068	40.5	2,975	37.6	△ 6,094	△ 67.2	19,548	43.3
卸売	11,344	50.7	2,722	34.4	△ 8,622	△ 76.0	21,034	46.6
海外	893	4.0	635	8.0	△ 258	△ 28.9	1,628	3.6
その他	19	0.1	34	0.4	14	73.9	59	0.1

(注) 店舗販売は、主に直営店舗、催事など

卸売は、主に小売店(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど

その他は健康食品事業、損害保険代理業など

売上原価・売上総利益

製造稼働の悪化により売上総利益率が21.2ポイント減

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上高	22,388	—	7,905	—	△ 14,483	△ 64.7	45,181	—
材料費	5,227	23.3	1,660	21.0	△ 3,567	△ 68.2	10,291	22.8
労務費	2,282	10.2	1,752	22.2	△ 530	△ 23.2	4,510	10.0
製造経費	1,227	5.5	874	11.1	△ 353	△ 28.8	2,646	5.9
製造原価計	8,735	39.0	4,285	54.2	△ 4,450	△ 50.9	17,446	38.6
その他	392	1.8	619	7.8	227	57.8	1,032	2.3
売上原価合計	9,127	40.8	4,904	62.0	△ 4,223	△ 46.3	18,478	40.9
売上総利益	13,260	59.2	3,001	38.0	△ 10,259	△ 77.4	26,702	59.1

販売管理費・営業利益

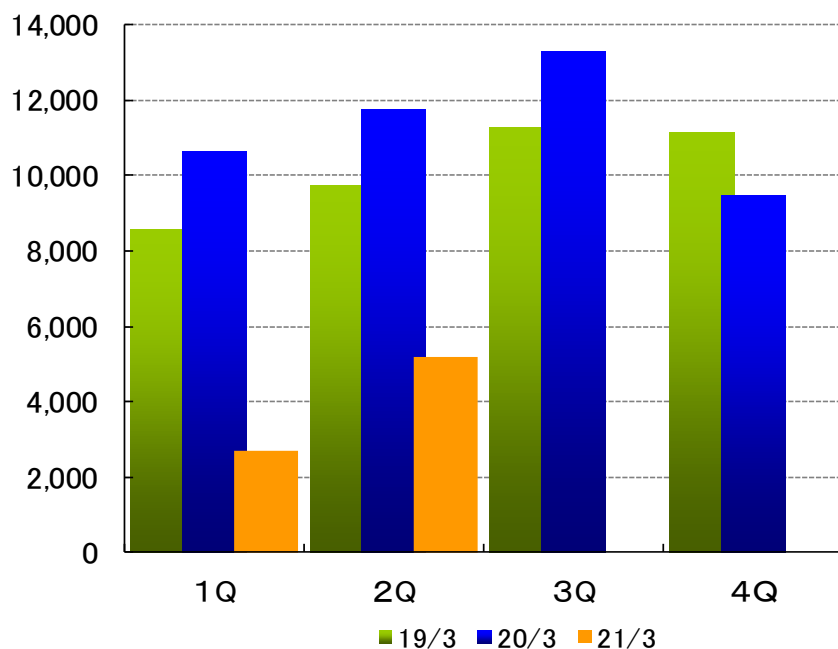
販売管理費前年同期比3,320百万円減

(百万円、%)	前第2四半期累計		当第2四半期累計		対前年同期		前期(参考)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	13,260	59.2	3,001	38.0	△ 10,259	△ 77.4	26,702	59.1
人件費	3,881	17.3	3,092	39.1	△ 789	△ 20.3	7,695	17.0
販売促進費	1,549	6.9	735	9.3	△ 814	△ 52.5	3,567	7.9
運賃	970	4.3	555	7.0	△ 415	△ 42.8	2,026	4.5
広告宣伝費	127	0.6	124	1.6	△ 3	△ 2.2	294	0.7
地代家賃	1,518	6.8	751	9.5	△ 767	△ 50.5	3,116	6.9
減価償却費	264	1.2	256	3.2	△ 9	△ 3.3	570	1.3
旅費交通費	320	1.4	77	1.0	△ 243	△ 75.9	621	1.4
その他	1,112	5.0	831	10.5	△ 280	△ 25.2	2,359	5.2
販売管理費	9,741	43.5	6,422	81.2	△ 3,320	△ 34.1	20,248	44.8
営業利益	3,519	15.7	△ 3,421	—	△ 6,940	—	6,455	14.3

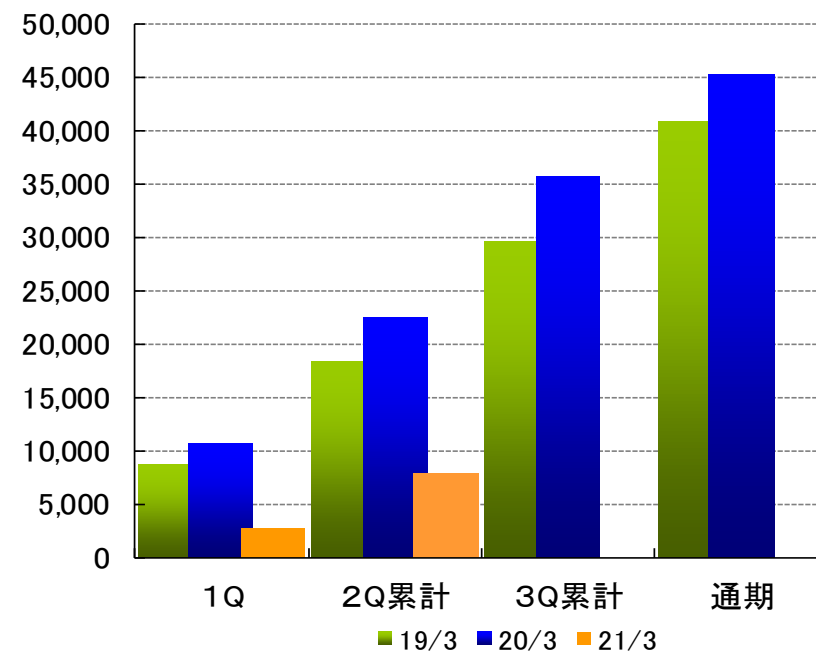
四半期業績の推移(売上高)

(2Q会計)7～8月は苦戦するも、9月に入り回復基調に

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



(百万円) 累計期間売上高の3期間比較

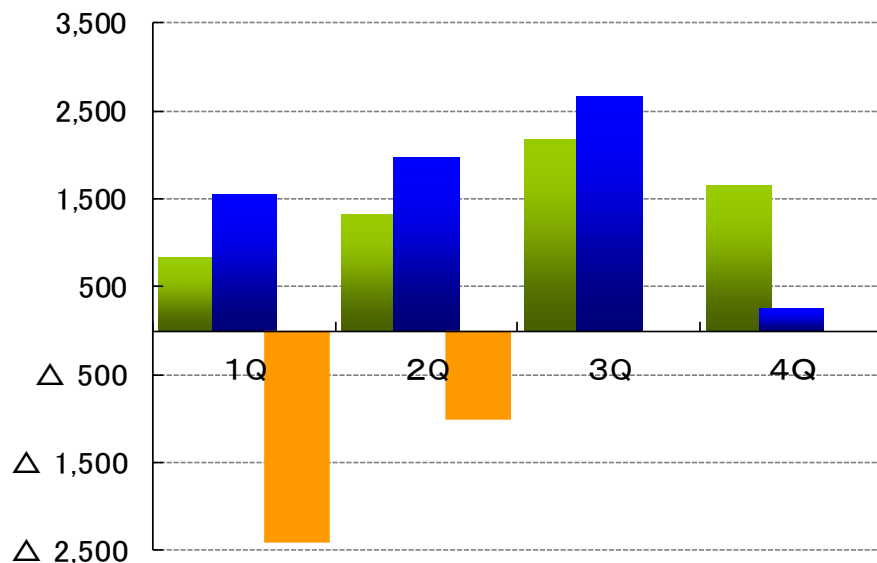


(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
19/3	8,601	9,747	11,268	11,153	8,601	18,348	29,616	40,769
20/3	10,627	11,761	13,287	9,506	10,627	22,388	35,675	45,181
21/3	2,716	5,189			2,716	7,905		
増減率	△74.4%	△55.9%			△74.4%	△64.7%		

四半期業績の推移(営業利益)

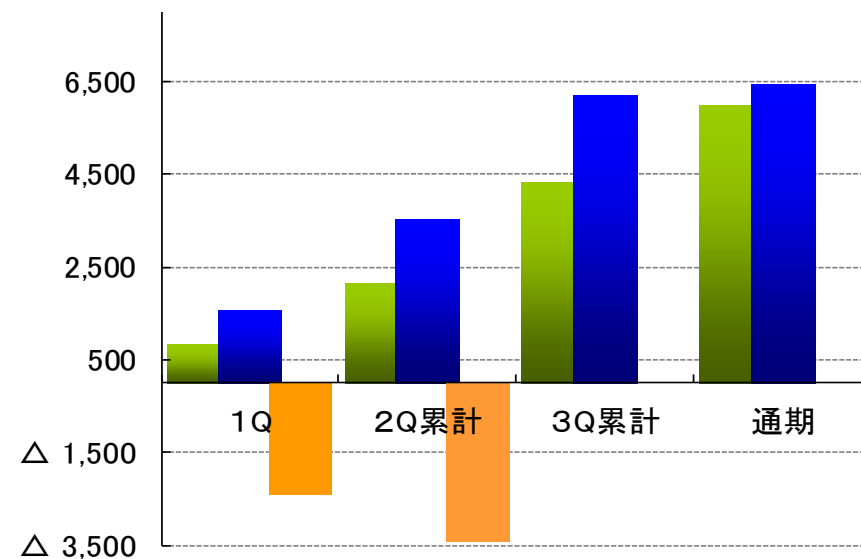
(2Q会計)1Qに対し赤字額は減少

(百万円) 会計期間営業利益の3期間比較



■ 19/3 ■ 20/3 ■ 21/3

(百万円) 累計期間営業利益の3期間比較



■ 19/3 ■ 20/3 ■ 21/3

(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
19/3	830	1,321	2,167	1,658	830	2,151	4,318	5,976
20/3	1,555	1,964	2,672	264	1,555	3,519	6,191	6,455
21/3	△ 2,409	△ 1,012	-	-	△ 2,409	△ 3,421	-	-
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-

貸借対照表

流動資産の減少は、主に現預金及び売上債権の減少によるもの

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期		21年3月期2Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	13,202	50.9	13,444	50.1	8,815	38.9	△ 4,629	△ 34.4
固定資産	12,751	49.1	13,370	49.9	13,828	61.1	458	3.4
資産合計	25,954	100.0	26,814	100.0	22,643	100.0	△ 4,172	△ 15.6
流動負債	5,804	22.4	3,846	14.3	1,872	8.3	△ 1,975	△ 51.3
固定負債	1,855	7.1	1,803	6.7	2,151	9.5	348	19.3
負債合計	7,659	29.5	5,649	21.1	4,023	17.8	△ 1,627	△ 28.8
純資産	18,294	70.5	21,165	78.9	18,620	82.2	△ 2,545	△ 12.0
負債純資産合計	25,954	100.0	26,814	100.0	22,643	100.0	△ 4,172	△ 15.6
BPS(円)	587.87		680.11		598.33		△ 81.78	△ 12.0
設備投資額	2,185		2,041		415			
減価償却費	1,234		1,459		695			
当座借越極度額	3,250		3,250		7,800		4,550	140.0

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ残高は、前期末に対し3,657百万円減少し、4,634百万円となる

(百万円、%)	19年3月期	20年3月期		21年3月期	対前年同期	
	通期	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	増減率
営業活動CF	4,697	3,063	6,578	△ 2,045	△ 5,108	△ 166.8
投資活動CF	△ 2,434	△ 998	△ 2,446	△ 526	472	△ 47.3
フリーCF	2,264	2,065	4,132	△ 2,571	△ 4,636	△ 224.5
財務活動CF	△ 1,352	△ 1,378	△ 1,500	△ 1,087	292	△ 21.2
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 4	△ 1	1	4	△ 113.8
cash増減	911	687	2,632	△ 3,657	△ 4,344	△ 632.7
cash期首	4,749	5,660	5,660	8,291	2,632	46.5
cash期末	5,660	6,342	8,291	4,634	△ 1,708	△ 26.9
有利子負債	433	300	180	340	40	13.2



2021年3月期 通期業績予想

2021年3月期 通期業績予想(対前期)

上期実績に下期予想を加え公表/下期は緩やかに回復するものと想定

(百万円、%)	20年3月期		21年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	45,181	-	23,140	-	△ 22,041	△ 48.8
売上総利益	26,702	59.1	11,100	48.0	△ 15,602	△ 58.4
販売管理費	20,248	44.8	14,500	62.7	△ 5,748	△ 28.4
営業利益	6,455	14.3	△ 3,400	-	△ 9,855	-
経常利益	6,475	14.3	△ 1,370	-	△ 7,845	-
純利益	4,100	9.1	△ 900	-	△ 5,000	-
EPS(円)	131.76		△ 28.92		△ 160.68	-
1株当たり配当金(円)	40.00		30.00		△ 10.00	△ 25.0
設備投資	2,041		500		△ 1,541	△ 75.5
減価償却費	1,459		1,400		△ 59	△ 4.1

●業績予想数値は2020年11月4日付公表のもの。

2021年3月期 下期業績予想(対前年同期比)

2021年3月期下期の黒字化を目指す!

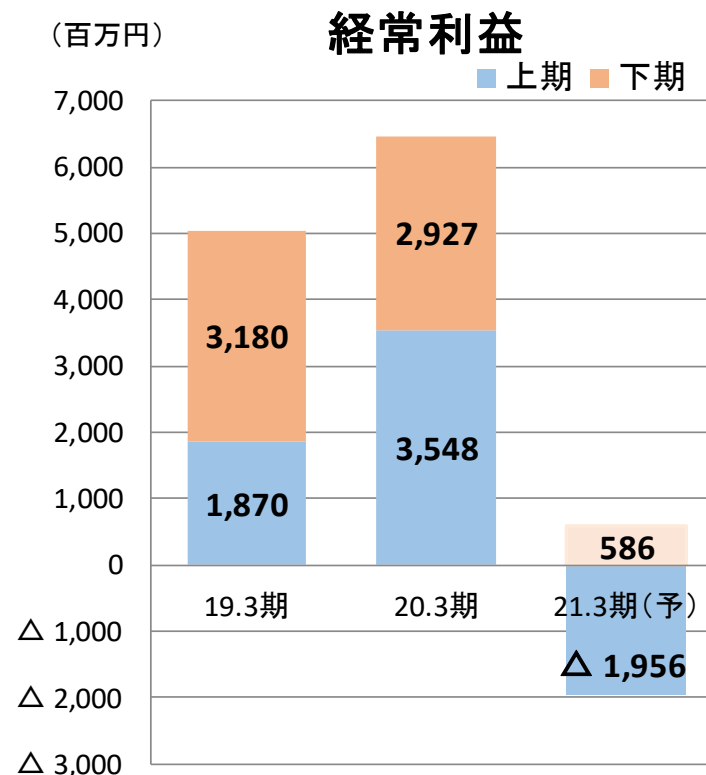
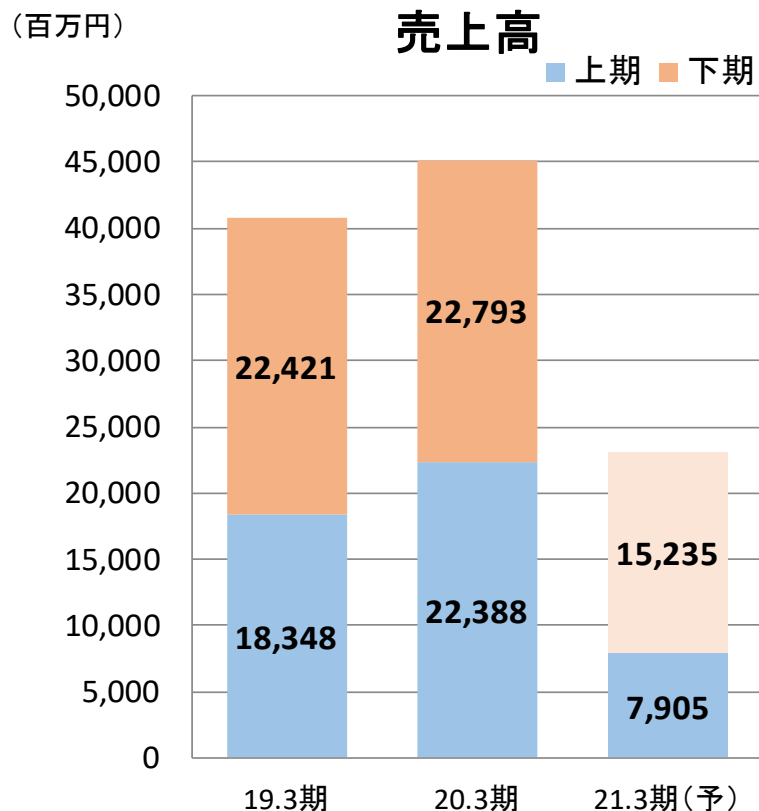
(百万円、%)	20年3月期(下期)		21年3月期(下期予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	22,793	-	15,235	-	△ 7,558	△ 33.2
売上総利益	13,442	59.0	8,099	53.2	△ 5,343	△ 39.7
販売管理費	10,506	46.1	8,078	53.0	△ 2,428	△ 23.1
営業利益	2,936	12.9	21	0.1	△ 2,915	△ 99.3
経常利益	2,927	12.8	586	3.8	△ 2,341	△ 80.0
純利益	1,832	8.0	390	2.6	△ 1,442	△ 78.7

2021年3月期 通期業績予想(セグメント別)

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	20/3月期	21/3月期予	増減額	増減率	20/3月期	21/3月期予	増減額
シュクレイ	16,199	7,286	△ 8,913	△ 55.0	2,059	△ 1,164	△ 3,223
ケイシイシイ	12,700	8,201	△ 4,499	△ 35.4	1,292	△ 617	△ 1,909
寿製菓・但馬寿	10,572	5,002	△ 5,570	△ 52.7	1,352	△ 867	△ 2,219
販売子会社	6,176	2,444	△ 3,732	△ 60.4	523	△ 469	△ 992
九十九島グループ	4,522	1,983	△ 2,539	△ 56.1	374	△ 693	△ 1,067
その他	812	508	△ 304	△ 37.4	△ 177	8	185
セグメント計	50,980	25,424	△ 25,556	△ 50.1	5,423	△ 3,802	△ 9,225
調整額	△ 5,800	△ 2,284	3,516	△ 60.6	1,032	402	△ 630
合計	45,181	23,140	△ 22,041	△ 48.8	6,455	△ 3,400	△ 9,855

●業績予想数値は2020年11月4日付公表のもの。

2021年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)



(単位:百万円)

	売上高						経常利益					
	19.3期	構成比	20.3期	構成比	21.3期(予)	構成比	19.3期	構成比	20.3期	構成比	21.3期(予)	構成比
上期	18,348	45.0%	22,388	49.6%	7,905	34.2%	1,870	37.0%	3,548	54.8%	△ 1,956	-
下期	22,421	55.0%	22,793	50.4%	15,235	65.8%	3,180	63.0%	2,927	45.2%	586	-
通期	40,769	100.0%	45,181	100.0%	23,140	100.0%	5,049	100.0%	6,475	100.0%	△ 1,370	-

(注) 21.3期予想の上期数値は実績値。21.3期下期数値は予想数値。



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2020年経営スローガン

超現場主義

最小単位プロフィット部門である現場長(店長・ラインリーダー)
中心の経営スタイルに一層磨きをかけ、コロナ禍における厳しい
事業環境下において突破口をこじ開け、勝利をもぎ取る

<コロナ禍における下期の重点施策>

1.早期のV字回復に向け、下期の営業利益の黒字化を目指す

①コロナ禍の消費者ニーズの変化に迅速に対応し、ブランド訴求力の向上を図る

- 商品対策：自家需要、その場需要対策の強化、主カブランド・主力製品の育成と新ブランド・新商品開発
- 売場対策：ディスプレイ、POP等の改良による商品訴求強化、GoToトラベル対策
- 販売力対策：接客力のレベルアップ
- 通信販売対策：ロイヤルカスタマー対策、ECモール・SNS対策、カタログギフト対策など
- その他販売チャネル対策：郊外店、高速道路SA、百貨店など

○季節イベント商戦(クリスマス、年末帰省、バレンタイン、ホワイトデー等)の対策強化

②コスト削減等による損益及びキャッシュフローの改善を図る

- 人件費の縮減(役員報酬・賞与減額、経費見直し、業務効率化など)
- 適正在庫の確保(新鮮でより美味しい商品をお客様にお届けすることを最優先に考える)
- 設備投資の抑制

○当座借越極度額を78億円まで増枠。業績の回復状況を見極め、適宜追加策を検討

<コロナ禍における下期の重点施策>

2.回復モードから成長ステージの対応に向け、終息後を見据えた準備推進を図る

- ①首都圏展開の推進
- ②インバウンド対策の強化
- ③海外事業における成長モデルの構築

首都圏



EXPASA海老名下り

インバウンド



多言語POP

海外



Cow Cow Kitchen タイ Siam Paragon_29-

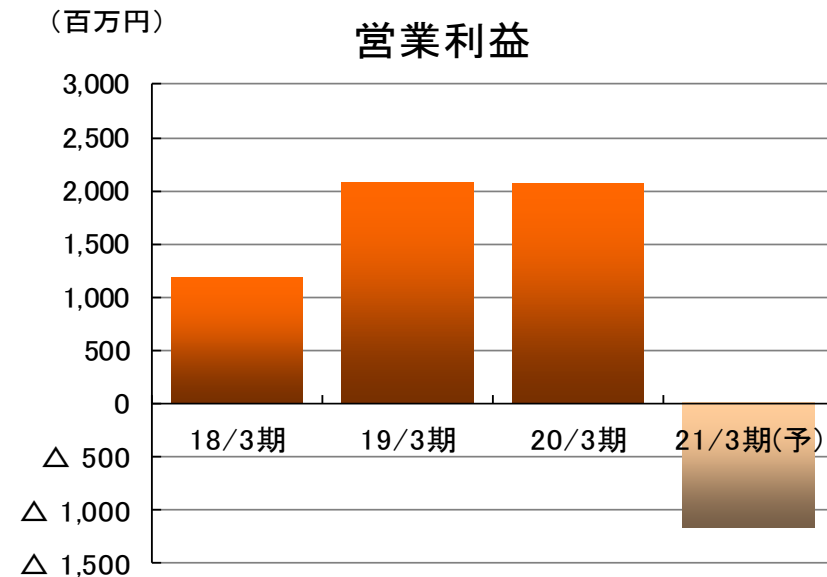
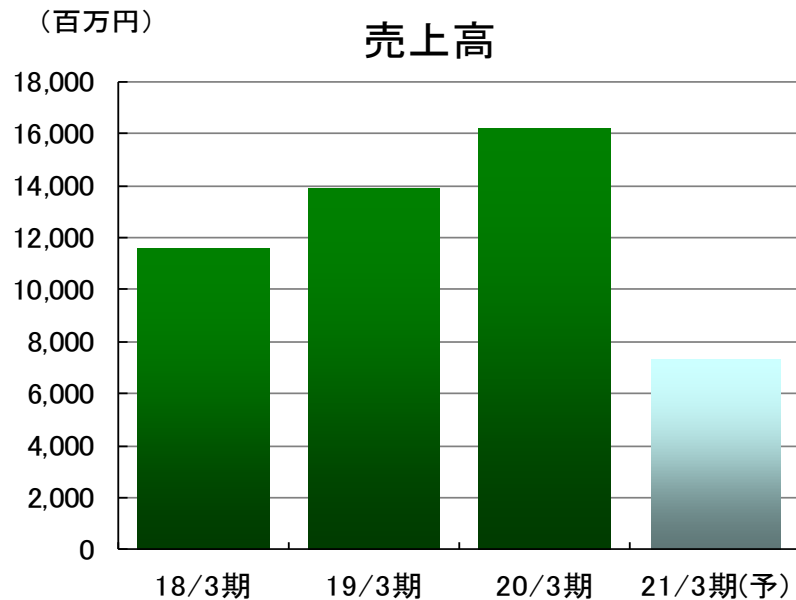
セグメント別概況



- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他

《シュクレイ》

21/3期予想:売上高 **7,286**百万円(前期比 $\Delta 55.0\%$)営業利益 **$\Delta 1,164$** 百万円(前期2,059百万円)



シュクレイ

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期		21/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	11,547	13,860	16,199	2,338	16.9	7,286	$\Delta 8,913$	$\Delta 55.0$
売上総利益	6,692	8,682	9,893	1,211	13.9	3,775	$\Delta 6,118$	$\Delta 61.8$
粗利率	58.0	62.6	61.1	$\Delta 1.6$		51.8	$\Delta 9.3$	
販売管理費	5,504	6,592	7,834	1,242	18.8	4,939	$\Delta 2,895$	$\Delta 37.0$
営業利益	1,188	2,090	2,059	$\Delta 31$	$\Delta 1.5$	$\Delta 1,164$	$\Delta 3,223$	-



《シュクレイ》

コロナ禍における郊外店舗の強化と、収束後に向けた東京駅での新ブランドの認知度向上に注力

- ・既存店の更なるレベルアップ、催事及び卸展開の強化
- ・GoToトラベル地域共通クーポンの利用促進商品の販売を開始



ピーチケーキ



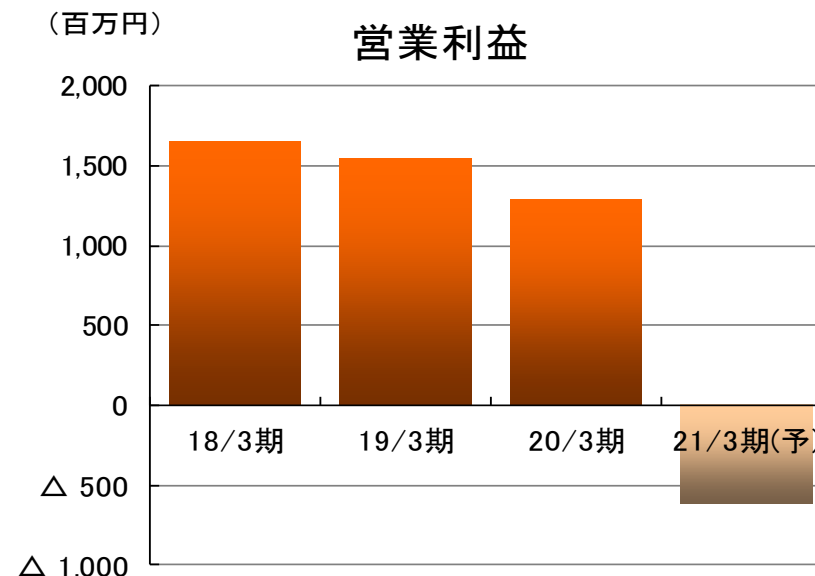
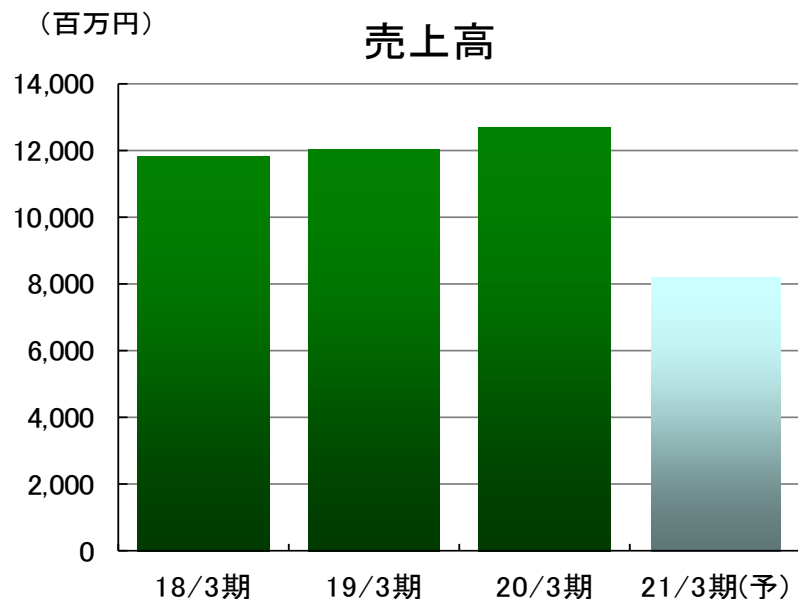
サンドクッキー
「ヘーゼルナッツと木苺」



ネコシェフバーガー

《ケイシイシイ》

21/3期予想:売上高 **8,201**百万円(前期比**△35.4%**)営業利益 **△617**百万円(前期1,292百万円)



ケイシイシイ

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期		21/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	11,841	12,012	12,700	688	5.7	8,201	△ 4,499	△ 35.4
売上総利益	7,230	7,479	7,758	279	3.7	4,583	△ 3,175	△ 40.9
粗利率	61.1	62.3	61.1	△ 1.2		55.9	△ 5.2	
販売管理費	5,573	5,927	6,466	540	9.1	5,200	△ 1,266	△ 19.6
営業利益	1,657	1,553	1,292	△ 261	△ 16.8	△ 617	△ 1,909	-



《ケイシイシイ》

LeTAO通販の強化と東京駅での新ブランド展開に注力

- ・通信販売はロイヤルカスタマー対策、ECチャネルでの強化を図る
- ・8月に東京駅で3ブランドを出店。首都圏ブランドの認知度を高める



あんバターフィナンシェ



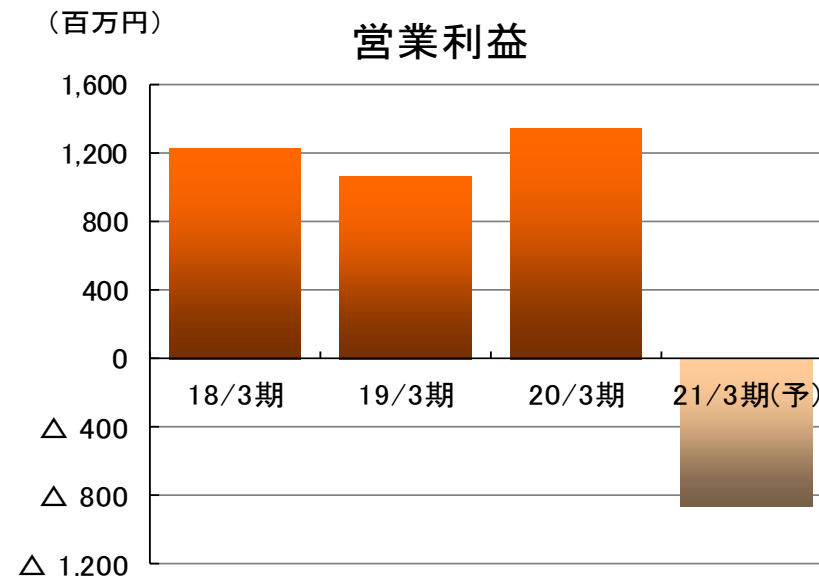
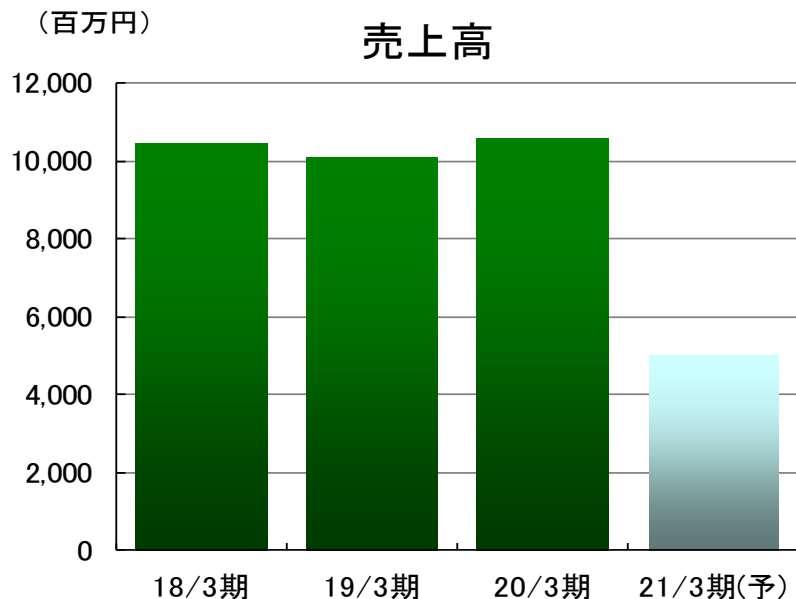
ピスタージュ



チーズケーキサンド

《寿製菓・但馬寿》

21/3期予想:売上高 **5,002**百万円(前期比 $\Delta 52.7\%$)営業利益 **$\Delta 867$** 百万円(前期1,352百万円)



寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期		21/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,428	10,080	10,572	492	4.9	5,002	$\Delta 5,570$	$\Delta 52.7$
売上総利益	3,958	3,866	4,199	332	8.6	1,062	$\Delta 3,137$	$\Delta 74.7$
粗利率	38.0	38.4	39.7	1.4		21.2	$\Delta 18.5$	
販売管理費	2,729	2,793	2,847	54	1.9	1,929	$\Delta 918$	$\Delta 32.2$
営業利益	1,230	1,073	1,352	279	26.0	$\Delta 867$	$\Delta 2,219$	-

《 寿製菓・但馬寿 》

GoToトラベル地域共通クーポン利用促進対策

オリジナルPOP・のぼり等を作成し、直営店・卸店舗でのGoToトラベル地域共通クーポンの利用を促進

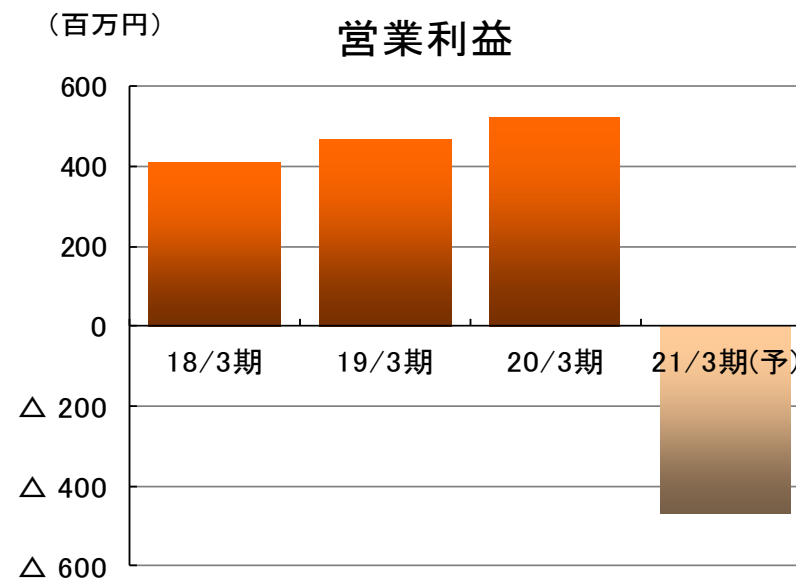
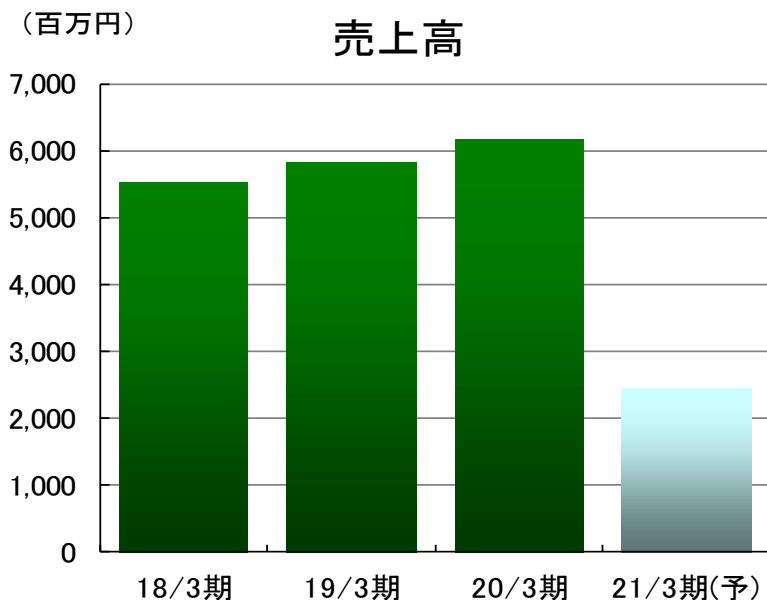


お菓子の壽城



《販売子会社》

21/3期予想:売上高 **2,444**百万円(前期比 $\Delta 60.4\%$)営業利益 $\Delta 469$ 百万円(前期523百万円)



販売子会社

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期		21/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	5,518	5,829	6,176	346	5.9	2,444	$\Delta 3,732$	$\Delta 60.4$
売上総利益	1,863	2,057	2,224	167	8.1	765	$\Delta 1,459$	$\Delta 65.6$
粗利率	33.8	35.3	36.0	0.7		31.3	$\Delta 4.7$	
販売管理費	1,454	1,590	1,700	110	6.9	1,234	$\Delta 466$	$\Delta 27.4$
営業利益	409	467	523	57	12.2	$\Delta 469$	$\Delta 992$	-

《販売子会社》

ひだ寿庵



東海寿



三重寿庵



寿庵



寿香寿庵



南寿製菓



寿堂



せとうち寿

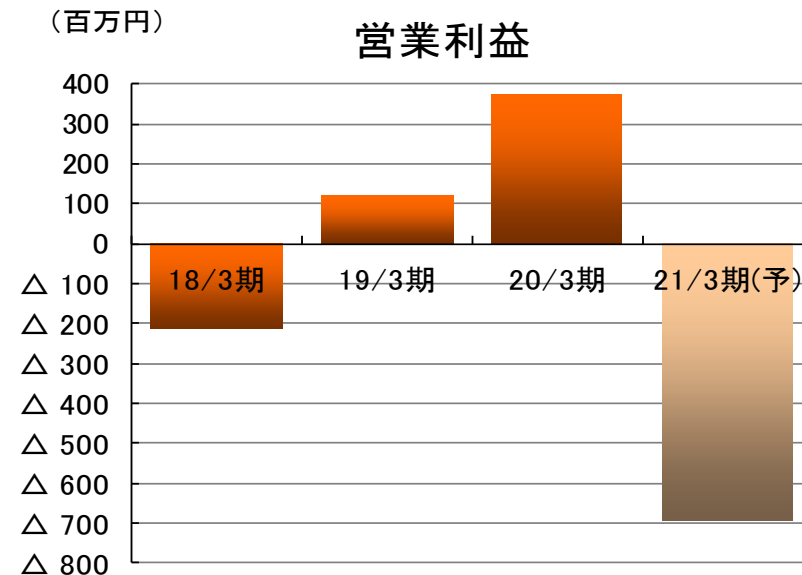
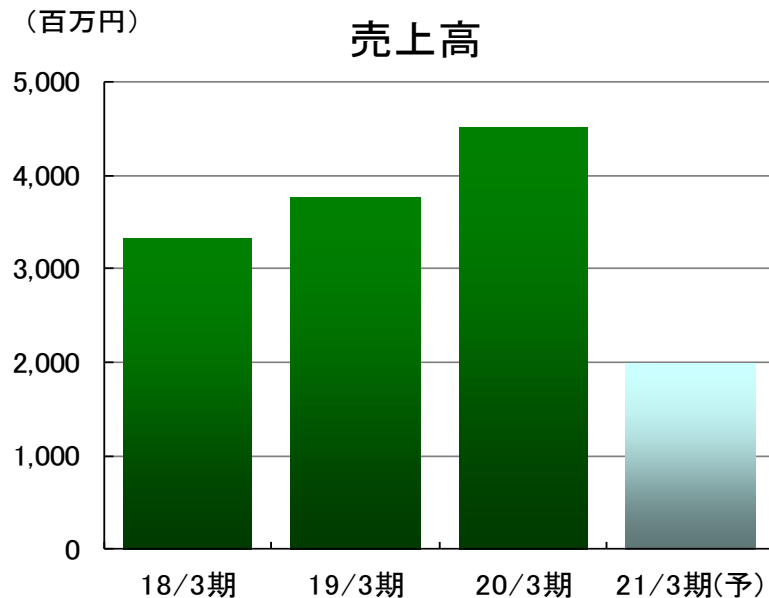


花福堂



《九十九島グループ》

21/3期予想:売上高 **1,983**百万円(前期比**△56.1%**)営業利益 **△693**百万円(前期374百万円)



九十九島グループ

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期		21/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,319	3,759	4,522	763	20.3	1,983	△ 2,539	△ 56.1
売上総利益	1,383	1,709	2,127	418	24.5	610	△ 1,517	△ 71.3
粗利率	41.7	45.5	47.0	1.6		30.8	△ 16.3	
販売管理費	1,596	1,589	1,753	164	10.3	1,303	△ 450	△ 25.7
営業利益	△ 213	120	374	254	-	△ 693	△ 1,067	-

《九十九島グループ》



催事展開の強化によりブランド認知度の向上を図る

- ・催事店舗のライブキッチンで焼きたてのフィナンシェを提供
- ・ハイブリッド型催事の展開によりコロナ禍におけるギフトの需要減に対応



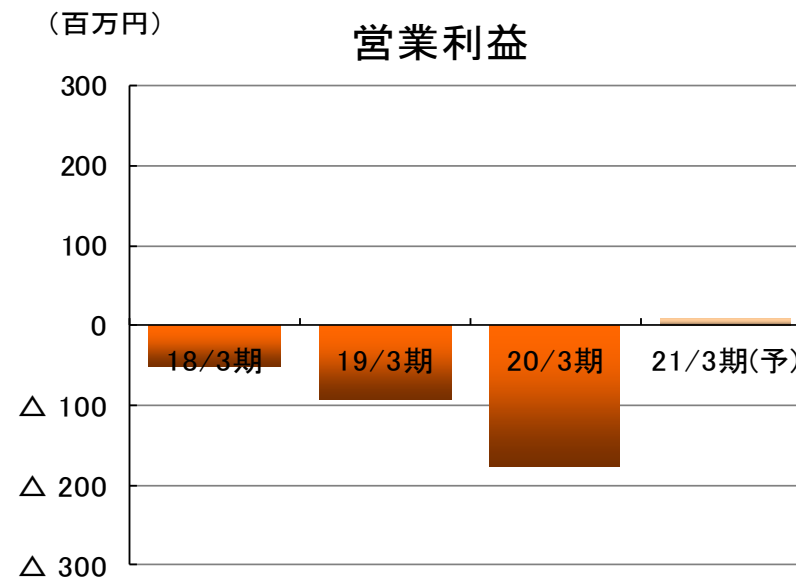
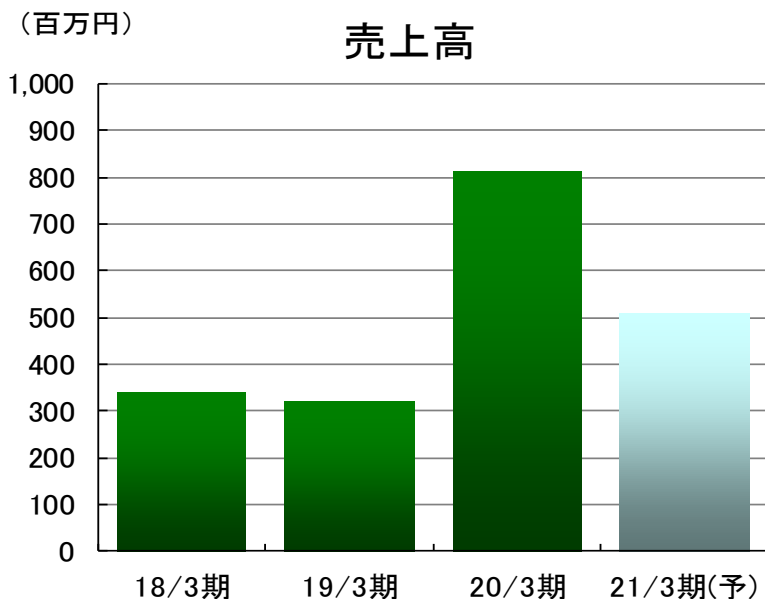
塩キャラメルフィナンシェ



Ivorish あべのハルカス近鉄本店催事

《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾・香港)菓子事業>

21/3期予想:売上高 **508**百万円(前期比 $\Delta 37.4\%$)営業利益 **8**百万円(前期 $\Delta 177$ 百万円)



その他

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期		21/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	340	321	812	491	152.8	508	$\Delta 304$	$\Delta 37.4$
売上総利益	198	191	529	337	176.2	349	$\Delta 180$	$\Delta 34.0$
粗利率	58.3	59.6	65.1	5.5		68.7	3.6	
販売管理費	251	283	706	423	149.3	341	$\Delta 365$	$\Delta 51.7$
営業利益	$\Delta 53$	$\Delta 91$	$\Delta 177$	$\Delta 85$	-	8	185	-

●その他に含まれる香港事業は、本年2月に事業を閉鎖し、現地法人Honey Sucrey Limitedは現在清算手続中。

《その他》

台湾菓子事業



Cow Cow Kitchen
台湾 新光三越台北信義新天地店

純藍

健康食品事業(純藍事業)



藍のやさしいのど飴



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2020年9月30日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

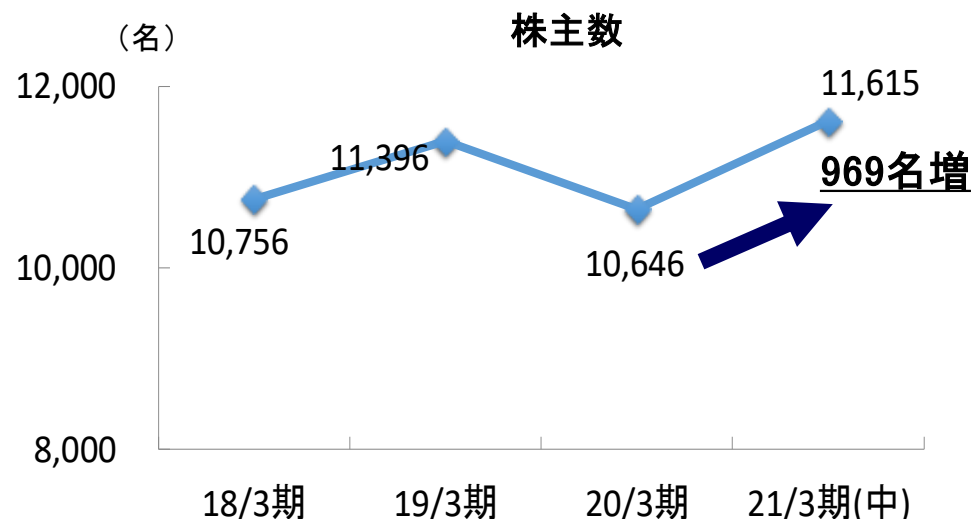
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 11,615名

(対前期末比 969名増)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,481,189	4.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,422,300	4.57
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	904,700	2.91
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89

注)出資比率は、自己株式2,027株を除く

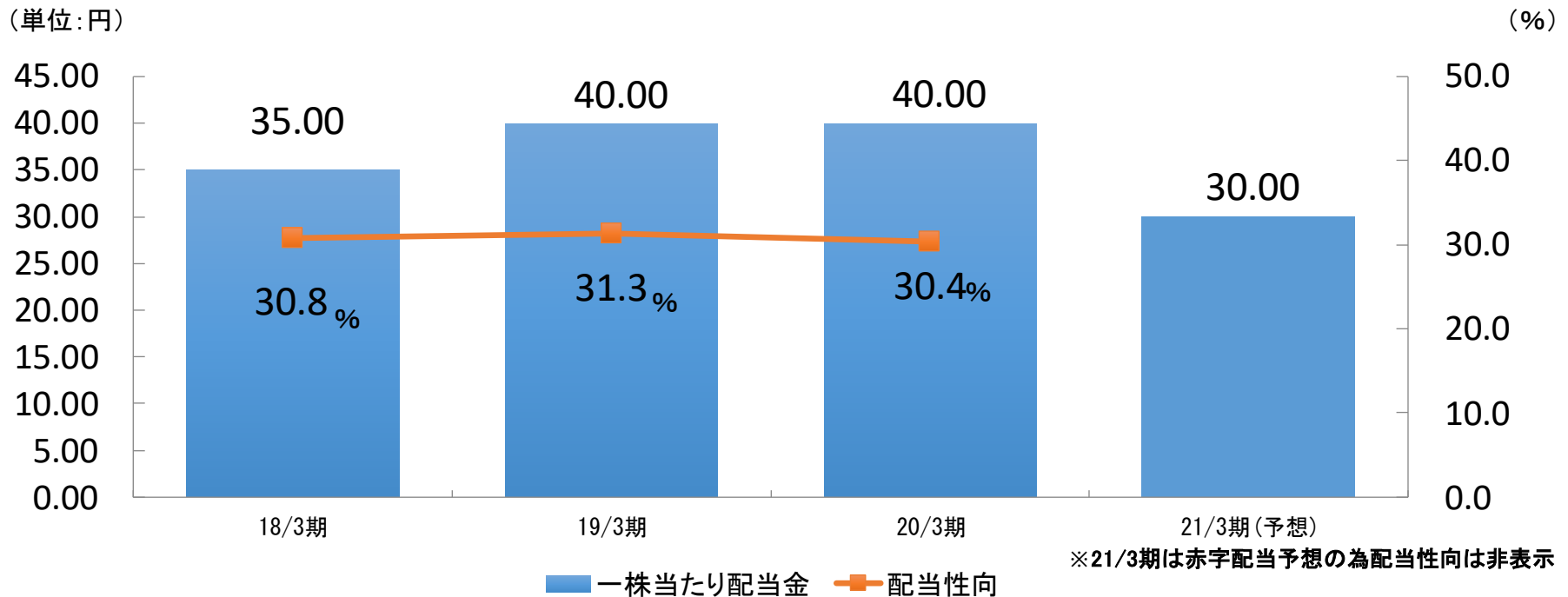
株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2021年3月期1株当たり配当金予想 **30円**

一株当たり配当金・配当性向推移



株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

ご所有株式数	内容
100株以上500株未満	2,000円相当のグループ製品
500株以上1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券(代替商品送付可)

【2020年度の株主優待商品】

100株以上500株未満ご所有の株主様
2,000円相当のグループ製品



500株以上ご所有の株主様
4,000円相当のグループ製品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体8名・連結1,635名
グループ会社	連結子会社18社(国内16社・海外2社)
連結売上高	452億円(2020年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) 株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。
- 2018年11月 (平成30年) 合併会社の持分取得によりHoney Sucrey Limitedを子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



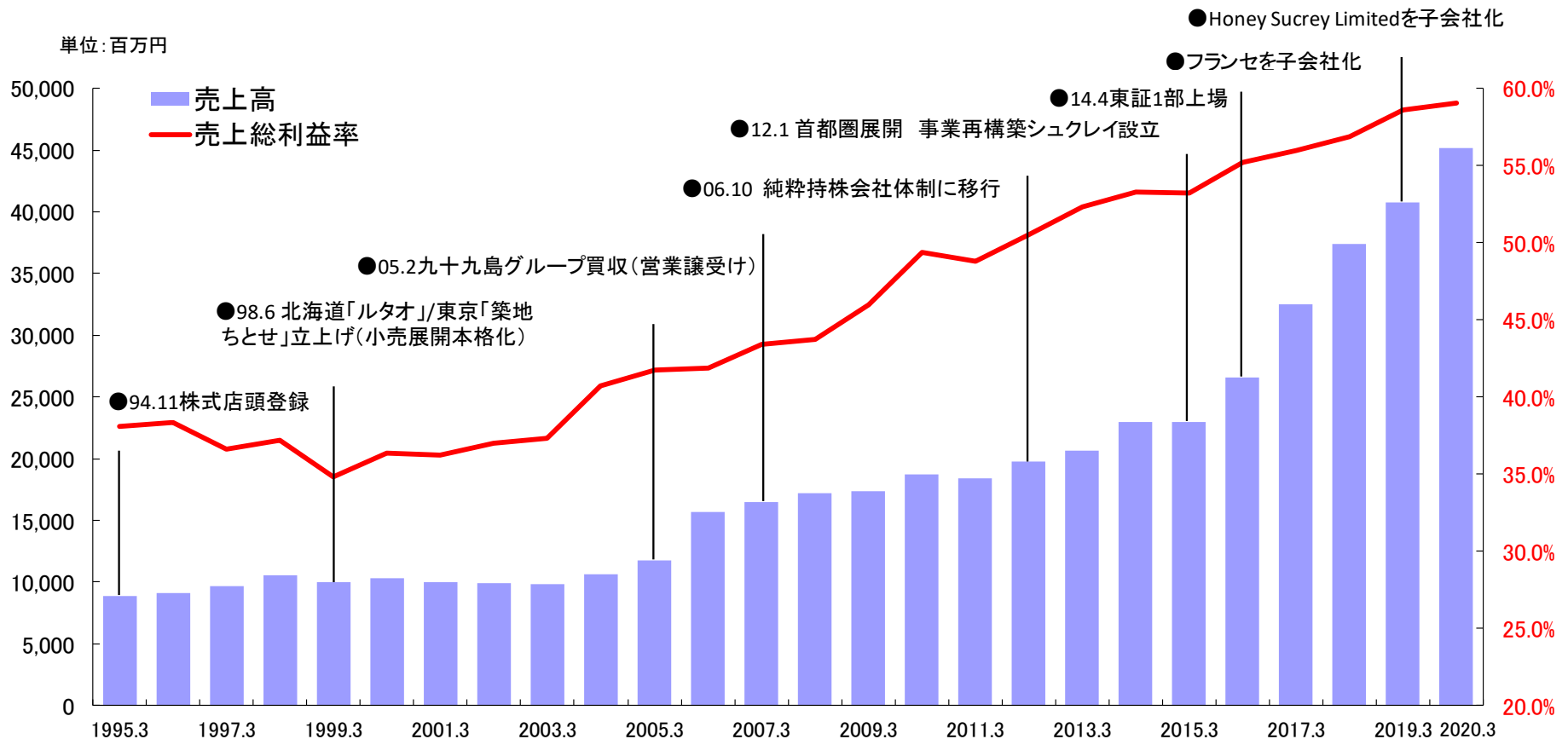
“ドゥーブルフロマージュ”



“九十九島せんぺい”

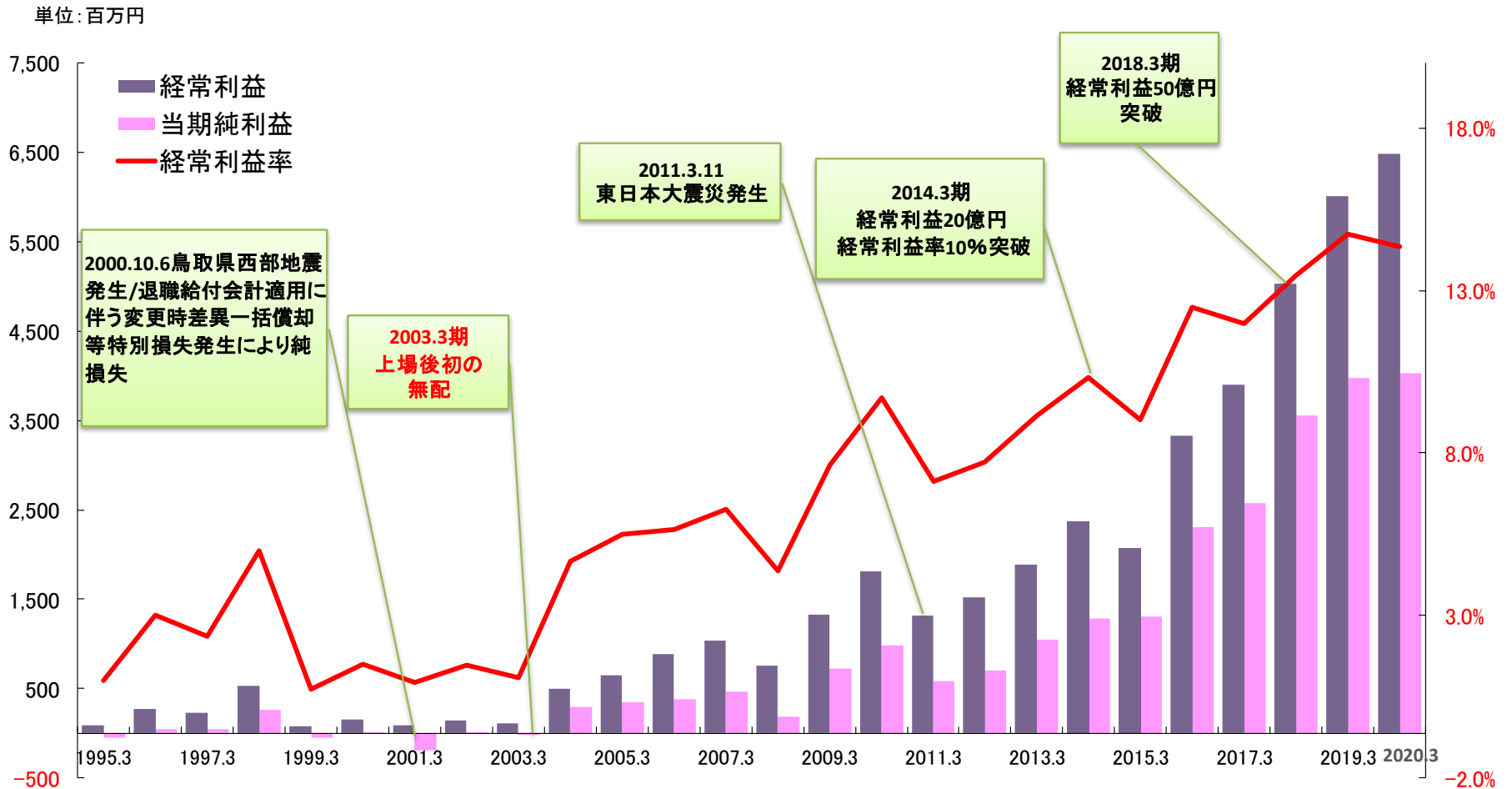
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

当期純利益 2013年3月期から8期連続で過去最高を更新



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

KÄNOZA
IZUMO

(山陰)



(北海道)



(福岡・東京)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(東京)



(佐世保・福岡)



(神戸)



(東京)



FRANÇAIS
(東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



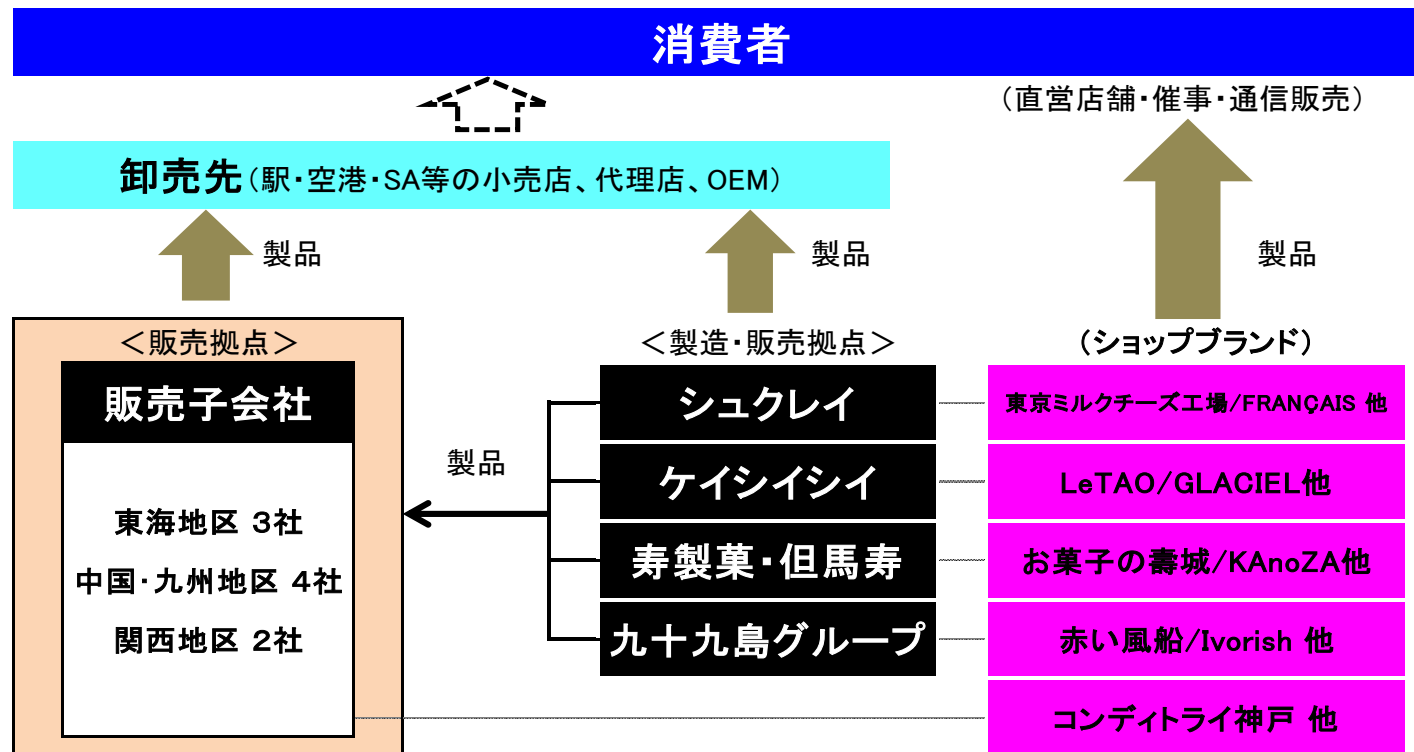
「九十九島せんべい」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。



《シュクレイ》

●ブランドオリジナルマスク着用での接客販売

シュクレイでは、新型コロナウイルス感染拡大の予防の為、全販売員同志がマスクを着用した接客販売を行っています。オリジナルデザインのマスクはブランド毎にデザインが異なり、各ブランドの世界観を表現しています。また、マスクの下はいつも通りの笑顔で接客を行っています。



《ケイシイシイ》

●千歳市の教育・保育施設等へのお菓子の寄贈



ケイシイシイは、4月に本社所在地の千歳市の教育・保育施設、学童クラブ、子供食堂へのお菓子の寄贈をさせて頂きました。心を込めた美味しいお菓子をお届けし、元気一杯の喜びを子供達から受け取りました。



《九十九島グループ》

KUJUKUSHIMA GROUP

株式会社 九十九島グループ

●笑顔バッジの作成

九十九島グループでは、マスクを着用しての接客が日常となっている中においても、スタッフ達の素晴らしい笑顔をお届けできないかと考え、スタッフそれぞれの笑顔を缶バッジにし、着用して販売を行っています。



《寿財団》

公益財団法人 寿財団
KOTOBUKI Foundation /

●公益財団法人寿財団のご紹介

弊社代表取締役社長河越誠剛が理事長を務める公益財団法人寿財団は、奨学金の給付を通じてより良い社会の構築に寄与すべく2019年2月に設立されました。

学業優秀であるにもかかわらず、経済的な理由で学費の支弁が困難な首都圏の大学に学ぶ学生に対して返還義務のない奨学金を給付することで、学業の奨励を図り、将来有望な優れた人材の育成に寄与してまいります。



奨学金の給付を通じて
より良い社会の構築に寄与いたします

詳しい情報につきましては公益財団法人寿財団のホームページをご覧ください。

<http://kotobukizaidan.org/>

